

★ 第 143 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2022 年 7 月 23 日（土）～24 日（日）

会場：松山大学（樋又キャンパス 2 階）

（愛媛県松山市文京町 4 番地 2）

7 月 23 日（土）

理事会（13:00～14:00） 樋又キャンパス 2 階 H2B 教室+オンライン

開 会 14:15 樋又キャンパス 2 階 H2D 教室+オンライン（以下同様）

自由報告部会I（14:20～15:50）

1.「伊仙町の人々の生活と子育て（1）質問紙調査の結果概要からみる地域社会と子育て」(s)

吉武 由彩(熊本大学)

2.「伊仙町の人々の生活と子育て（2）育児ネットワークの地域間比較」(s)

益田 仁(中村学園大学)

3.「伊仙町の人々の生活と子育て（3）子育てを支える地域社会のしくみ」(s)

山下 亜紀子(九州大学)

休憩(10分)

総会（16:00～17:00）

※総会後に軽食を囲んでの情報交換会を1時間程度予定しております。参加費は1,000円です。

7 月 24 日（日）

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。なお、オンライン参加の方は、質問等がある場合はチャット機能でお願いいたします(ただし全てのご質問に対応できるとは限らないことをご了承ください)。

自由報告部会II（10:00～12:00）樋又キャンパス 2 階 H2D 教室+オンライン

1.「宗教に基盤を置く相互扶助とその制度化——天理教里親を事例に」(s)

桑畑 洋一郎(山口大学)

2.「なぜ民族団体に参加するのか——「在日本大韓民国青年会」参加者の事例から」(s)

木下 佳人(熊本大学大学院)

3.「2021 武雄水害における被災状況と脆弱性」(s)

三隅 一人(九州大学)

4.「韓流ブーム以降における「大阪生野コリアタウン」イメージの考察

——韓国文化意識調査の結果を中心に」(s)

八木 寛之(関西国際大学)・吉田 全宏(大阪市立大学)

閉 会 12:10